

第六十七号

一 紫 会 だ よ り

題字 伊藤嘉夫先生

幹事長あいさつ

大塚 和子



ございます。

一紫会会員の皆様ごきげんよう。残暑の厳しい陽射しの中にも、ふと秋の気配が感じられるようになって参りました。お変わりなくお過ごしでしょうか。

一紫会は昨年創設四十五周年を迎え、あらたな気持ちで歩み始めました。そして跡見学園女子大学は来年(二〇一五年)、創立五十周年を迎えることとなります。文学部国文学科と美学美術史学科の一学部二学科から始まりました女子大学も、現在は二学部七学科に発展致しました。来年は女子大学創立五十周年と共に新学部も新設されると伺っております。大学におきましては二重の喜びと共に、未来へ向けての覚悟を感じております。一紫会も大学の発展に少しでも寄与できま

すよう努力していく所存でございます。さて、三月十八日は第四十六回跡見学園女子大学卒業式が挙行されました。文京シビック大ホールで卒業式が行われるようになって三回目になりましたが、式場が学外に移ったことにより、跡見をより広く知っていただく良い機会になっていくように思われました。卒業生九三四名を一紫会にお迎えし、一紫会会員は約二万九千名を数えております。

三月二十九日(土)は新座キャンパスにおいて女子大学主催「第十回桜まつり」が開催されました。好天に恵まれ、八分咲き程の桜がキャンパスを彩り、大勢の方が三々五々構内を散策していらつしやいました。一紫会では一紫会グッズと、どら焼の販売で桜まつりに参加しております。皆様も機会がございましたら是非お立ち寄り下さいませ。四月三日、新座キャンパス体育館において第五十回入学式が挙行され、学部生九三六

名、編入生四名、大学院生二二名が入学式に臨まれました。入学式当日はあいにくの雨模様でしたが、新入生・保護者の皆様は雨の中、桜を愛でつつ、それぞれの喜び、期待を膨らませているようでした。二〇〇八年に文京キャンパスが開設されて、女子大学は活発に文京区との交流を続けております。昨年十月六日(日)にプロックスホールにおいて文京区との共催で第二回「森鷗外朗読コンテスト」が開催されました。今回は森鷗外記念館開館一周年記念事業として行われました。二百名を超える全国の応募者の中から、録音審査を経て十五名の方が本選に臨まれました。審査委員長に元NHKアナウンサーで本学教授でいらした広瀬修子先生、森家のお立場からお孫様の森美奈様が審査員としてご参加下さいました。最終選考の十五名には小学校四年生の方もいらつしやう、一紫会会員七回生の方、本学学生の方もいらして、皆それぞれ素晴らしい朗読をご披露下さいました。三月十一日(火)には文京

アカデミー大学学長講演会が文京キャンパスで開催されました。「ドイツにおける地域と観光——ガルミッシュユールテンキルヘンの場合——」という山田徹雄学長の講演は、あまり馴染みのない地域を題材としたものでしたが、チロル地方のことという説明を伺い、親しみを感じることができました。観光立国を目指す日本との比較、少子高齢化の問題など共通の問題を多く提示され、今後の日本が進むべき方向を考える上で示唆に富むお話を伺いすることができました。

一紫会といたしましては恒例となりました美術館めぐりバスツアー・歌舞伎観劇会・各支部会等の活動を致しておりますが、大学主催の各種行事にも積極的に参加しております。これらの行事は跡見ネットでもお知らせしておりますので、会員の皆様にもご参加いただいで、現在の女子大学を体感していただければと思っております。

秋に向かい、一紫会の活動も活発になって参ります。行事を通して皆様にお目にかかれまことを楽しみに致しております。

我が信条 (Our Credo)

学長 山田 徹雄

跡見学園女子大学は、社会のさまざまな場面において貢献する人材を提供する。大学は広い教養を基礎に、深い洞察を持った社会人を養成する場であるとの認識を踏まえ、跡見学園女子大学は学問の府である伝統を維持しつつ、時代に対応する研究・教育を実現する。



資源として活用し、あわせて新たな受験生のマーケットを開拓するという意欲的な取り組みです。我が国の産業構造の転換に鑑み、観光業の持つ潜在性と成長性、またその裾野の広さを考えるとき、観光関連産業に従事する人の数は、今後増えることはあっても、減ることはありません。

これは、私が学長に就任した二〇一〇年に、ホームページの学長メッセージの冒頭に掲げた文章です。跡見学園女子大学は、古い伝統を持つているが故に、その伝統を守りつつも時代の新しい流れに取り残されないように努力しなければならぬという、私の思いを込めてメッセージを発しました。

一方、グローバル化の進展は、コミュニティの大切さを認識させる作用も持ち合わせています。ヨーロッパにおいてEUが形成されることによって、国境の意義が相対化し地域の重要性が増したように。このような観点から、本学は二〇一五年度に観光コミュニティ(観光コミュニティ学部)を設置することを計画しております。

現在、マネジメント学科に観光マネジメント学科が置かれていますが、これを発展的に解消して新学部の

そのもとに観光デザイン学科とコミュニティデザイン学科を置くことを構想し、設置申請を致しました。新学部・新学科の名称に

は、観光立国日本への思いと地域コミュニティ活性化への願いが込められています。その夢を実現する主体としての女性を、我々は育成する課題を担うつもりです。

二〇二〇年、夏季オリンピック・パラリンピックが東京で開催されます。日本がその魅力、文化を発信する好機といわねばなりません。その時には、新学部が完成年度を経過し、有用な人材を本学が提供できるであろうと思っております。時代は足早に変化していきます。その中で、次世代、次々世代の価値観を展望することは至難の業といわねばなりません。「私たちが娘や孫に行かせたい大学ではない、私たちの娘や孫が行きたい大学をつくる」ことを模索し、跡見学園女子大学は新たな歴史を切り開く覚悟です。

これからの女子教育

跡見学園理事長

山崎 一 穎



教師として大学の教育現場で過ごし、今、理事長として教育現場の環境整備にあたる責任者として、二十一世紀の女子教育のあり方について私見を述べます。

二〇五〇年には現在の日本の人口約一億二五〇〇万人が、ほぼ一億人となり、六〇年には八七〇〇万人まで減少するという人口推計があります。ますます少子高齢化社会になります。明らかに実労働人口が不足します。もはや女性が働かなければ、年金・福祉の社会保障制度を維持できません。

無論、女性が働くためには育児・保育等の施設の整備、出産で離職した場合の再雇用等の制度設計を含めたライフワークバランスの問題を解決しなければならぬこと、は言うまでもありません。例えば、拠点(駅前、丸の内)ごとに企業が合同で保育所を建設・運営するような大胆な発想の転換が必要で、す。その時こそ企業減税をすべきでしょう。

二〇世紀が戦争、力、男性中心の世界であったとすれば、今日それは破綻しています。

現在、情報は瞬時に国境を越え、インターネット上の単位で動いています。情報化社会に於ける経済のグローバル化は有効性を持ち

ましたが、同時に文化のグローバル化は没個性を生み、そのみならず自国の文化の喪失を招いていることも事実です。

このような社会背景を踏まえて、これからの女子教育はどうあるべきか、その理念の一端を語ります。これからの教育は従来の文科系か理科系か、虚学か実学かという二分法は機能しないでしょう。虚学と実学との混交という教育システムの中で、文理融合型の人間を育成することが求められています。そして、グローバルな視野を持った個性的な人間を育成することが希求されています。

この方向で人間形成を考えた上で、女子教育にあつては女性ならではの発想や感性を育成することを附加しなければならぬでしょう。

大学のカリキュラムも異質なものの組合せ・複数の異分野の講師による同一テーマの講座、研究テーマの社会での実験・実習等選択と集中の中で構成しなおす必要があります。勿論、グローバル化、個性化の融合と言えども、その基層をなす部分は教養です。跡見学園は教養をもって建学の精神とした教育機関です。目で見て、心で感じ、手で表現することが一体となつています。鑑賞と実技がセットとなつています。これが教養です。

東京大学が明治十年(一八七七)開学とした時、法学・文学・理学・医学部で発足します。文学部の中

心は哲学・政治学・経済学・社会学で次いで文学・史学が置かれています。明治国家建設に従事する人材の育成の原点です。まさにグローバル化の教養の原点がここにあります。今、ここに帰るべきです。理事長としてこのような時代を生きるマインドとスキルを持った女性の育成のために、教育環境の整備にあたる所存です。今、文京キャンパスの拡張計画を進めています。

現在文京・新座との二つのキャンパスを持っていますが、効率が悪く、ランニングコストもかかり過ぎます。将来に禍根を残すダブルキャンパスは、早急に解消する必要があります。

当然全学を文京キャンパスへ移した場合は、新座キャンパスをどうするか問題が残ります。全学的にまだ合意ができていませんので、私の夢を語ります。樹木、草花が見事に育っていますからコテージを建て、セミナーハウスとしてゼミやクラブの合宿に使用できればと思っています。

中国の周の成王は「怠忽なれば、政は荒む」(『書経』)と言います。政(政治)の代わりに大学と置き代えます。理事長を始めとして教職員が教育活動にあつて、怠け手抜きをすれば、大学は荒廃するという意味になります。そうならないことをみなさんに誓い稿を綴じます。お元気で。

- 1939) が創設した精神分析です。ですが、創設した国オーストリアでは精神分析は異端視されます。1930年代以降、精神分析はアメリカで受け入れられようやく活発な展開をみます。

現在、日本の臨床心理学の総本山と言っても過言ではない日本心理臨床学会は正会員26,411人を有する、心理学系の学会では日本最大の会員数を擁する組織となっています。この学会発足の契機となった1981年の「心理臨床家の集い」では600人程の人数だったのです。ちなみに、心理学系で最も歴史の古い日本心理学会(基礎心理学系の会員が多い)の会員数は7,400人(2012年3月)です。日本心理臨床学会はその4倍弱の会員数ですから、その規模の大きさがお分かりいただけるかと思います。ですが、日本でもご多聞にもれず心理学の中では臨床心理学は垂流の時代がずっと続いていたのですから、変われば変わるもの。というより、それだけ社会が「心の援助」を希求しているのだといった方が適切でしょう。

最後に本跡見学園女子大学臨床心理学科では、今年、先述の日本心理臨床学会第33回秋季大会(8月末、パシフィコ横浜)をお引き受けし、8月24日(日)には公開シンポジウム(テーマ:多職種との協働)を開催いたしました。

ところが事実は違うのです。心理学の中においては、臨床心理学はゴマメ扱いを受けていました。

そもそも「心を学する」心理学の起源はどこにあるかご存知でしょうか。実は「哲学」(古代ギリシャより)だったのです。というより、「心」という目に見えないものを研究する分野が哲学しかなかったのかもしれませんが。何しろ、昔の多くの一般人は(ひょっとしたら知識人も…?)、心は「心臓」にあるとずっと信じていたのですから。それが眼球の奥上にある脳と呼ばれている活動の総体であるという事が普及したのは近代末から現代にかけてです。世界で初めて全身麻酔を使って乳癌の手術を成功させたのは華岡青洲(1804年)だという事を知っておられる読者も多いかと思えます。その時代、女性は乳房を切断すると死ぬと信じられていました。乳房に女性の命が宿していると信じられていた時代なのです。記憶の忘却曲線で有名なドイツのエビングハウスは、「心理学の過去は長いが歴史は短い」という言葉を残しているのもむべなるかなです。実のところ、近代心理学の発端はヴントが実験心理学研究所を創設した1879年とされています。

話を臨床心理学に戻しましょう。臨床心理学で忘れてはならないのが、精神科医フロイト(1856

臨床心理学って何するの?



臨床心理学科准教授
宮崎 圭子

読者の皆様は「臨床心理学」とは何をする学問と思っておられますか? 筆者はこの問いにいつもこのように答えることにしています。「人が幸せになることを援助する学問です」と。注目すべきことは「人が幸せになるための学問」ではなく、「幸せになることを援助する学問」という箇所です。ですので、実用の学問、実践的な学問です。そしてこの臨床心理学はいろいろな他の心理学(人格心理学、心理教育的アセスメント、発達心理学、等々)に支えられています。

これをお読みになられている読者の皆さんは今、こんな風に思われているのではないのでしょうか? そんないい学問なら、さぞかし心理学のなかで高い評価を得てきた歴史があるのだろうと。

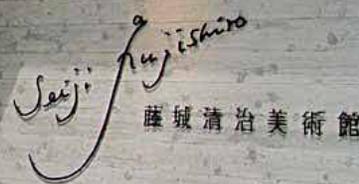
一 紫会主催 2014年10月8日(水) 一日帰り・昼食付 一
第15回 美術館めぐりバスツアー

am.8:00 新宿駅西口集合 → pm.7:30 新宿駅西口着予定

一 那 須 編 一 参加者募集!

今秋は那須高原の「ステンドグラス美術館」で、教会の礼拝堂を飾るステンドグラスの美しさを堪能していただきます。ランチは那須の大自然をホテル13階の眺望と共に、フレンチの地産美食をお愉しください。

午後は影絵の魔術師・藤城清治美術館で、初の常設館として作家の集大成の作品から、震災被災地の復興を祈り創作されました入魂の作品をご鑑賞下さい。



那須ステンドグラス美術館



藤城清治美術館



那須ステンドグラス美術館

19:30	16:15	15:00	12:30	11:00	10:50	8:45	8:00	ツアー行程
新宿西口解散	那須IC IN	藤城清治美術館	ホテルエビナール那須 レストラン ラ・ヴェルデュール	ステンドグラス美術館	那須IC OUT	那須高原着	新宿西口集合	
19:30	蓮田SA	グループ見学	ホテルエビナール那須 レストラン ラ・ヴェルデュール	自由見学・散策	那須高原着	佐野SA	新宿西口集合	
			14:00	12:15				

【注意事項】藤城清治美術館への移動は徒歩(三百メートル)があります。お足元にご留意下さい。

ツアー行程

お申込方法

先着 35名
 会員限定

- 申込先
 FAX・葉書にバスツアー参加希望、〒・住所、氏名、会員番号、回生、学科、電話番号、FAX番号、生年月日(保険加入のため)をご記入の上、左記宛お申し込み下さい。
- 〒一〇二一八六二九
 文京区大塚一五一九
 跡見学園
 跡見校友会一紫会
 バスツアー係
 FAX 03(3941)8642
- べ切 9月11日(木) 必着
- 会費 四千元
- 初回申し込みの方優先受付
 お申し込みされた方全員に結果をご連絡いたします。
- ご参加の方には後日ご案内と**参加証**をお送りいたします。当日はこの参加証をお持ち下さい。
- 9月25日(木)までに連絡がない場合、FAX又は葉書にてご連絡下さい。
- 現地参加歓迎
 ツアー行程中、美術館見学より、また近隣に在住の会員の方の参加も受付いたします。会費は割引になります。どうぞお申し込み下さい。
- 会員番号は封筒宛名の下に記載されています。
- 申込書に不備のあるものは受付できませんのでご注意ください。

第14回 美術館めぐりバスツアーレポート

昨秋10月2日(水)美術館巡りのバスは台風22号の影響で、一紫会のバスツアー始まって以来の大雨でのスタートとなりました。

今回のツアーは富士山の「ユネスコ世界文化遺産」登録を記念しての静岡編「富士を観る旅」。



心配していた雨雲も静岡に入ってから徐々に青空になり、富士山も少しずつ顔を出してくれました。梅で有名な小田原の曾我を抜けると、すっかり晴れ間が広がりました。

静岡県立美術館では記念企画の「富士山の絵画展」を拝観。富士山信仰はもとより、静岡の名勝として名高い「三保松原」「白糸ノ滝」と富士との多様な絵画表現を楽しむことが出来ました。

ランチもレストラン「エスタ」にて富士山世界遺産特別メニューを。御殿場鶏胸肉と牛蒡のムーススリッヌ、富士宮の鱒のコンフィ、富士湧水ポークなどのフルコースを満喫いたしました。



静岡県立美術館



登呂遺跡

隣接のロタン館では、ラグビーボール状のガラス天井から注ぎ込む自然光のもと『地獄の門』『考える人』『カレーの市民』を始めとする32点のロタンの彫刻を堪能いたしました。

最後に、登呂遺跡の一隅にある芹沢銈介美術館へ。「歩く、描く、集める展」では染色界の重鎮・芹沢銈介の世界を旅したコレクションの数々に触れながら、染色のスペシャリストの世界観に触れることが出来ました。

大雨のスタートでどうなることかと思ったバスツアーもいつもの晴天に恵まれ、予定通り順調に進み、皆さん笑顔で無事帰宅いたしました。

恩師は今……

——本年、退職された先生からのメッセージ——

見てみてとは言わず唯咲きはこる櫻

片野 智治 先生



を念じた。主として九月、バスを乗り継ぎ、酷暑の中を実習校訪問した。

私が教員になって、ある私立の中学・高等学校と、担任として五年間指導した生徒が跡見の英文科へ進学した。また私のすぐ上の兄のひとり娘が、同じく英文科を卒業した。私の中では、跡見学園女子大学文学部臨床心理学科の新設への期待感が高まっていた。

カウンセリング心理学をはじめ、キャリアアカウンセリング論、教育相談及びカウンセリング、学校心理学概論等の授業にも、熱が入った。そのうち、研究科をつくることになって、知人や恩人にすがって学生を集めるという苦労もした。必修科目「カウンセリング実習」(一〇日間)が実際に動き出してから、毎年数カ月間、気の重さがつきまとうようになった。二十五か所での実習が「大過なく……」終了すること

跡見の魅力

佐藤 史郎 先生



あれは学生部次長の任にあるときのことである。ある暑い夏の日の夕方、銀座で企業訪問をしたのち、学生部就職課の箱島職員と、どちらからもなく誘って入った居酒屋で飲んだ生ビールの味は今でも忘れない。跡見の学生に対する企業の印象は一貫して良く、不景気でも本学への求人が減らないことは珍しくなかった。それ以来、「減らないのは何故だろう」と、自問してきた。そして、跡見の学生の「素直さ」がその主因であると考えるに至った。すばらしい業績を残す人に共通する資質は、周りの人の意見に素直に耳を傾け、正すべきは正すというまさに「素直さ」であろうと思う。素直であった初めて、人は他人と協調でき、与えられた任務を全うできるのではないだろうか。また、「素直さ」は一生の財産ともいえる数多くの友人の輪を築くことも可能にしてく

私は四十代に入ってから東京農大の友人と、学生の専攻分野を考慮した大学英語テキストの編纂・執筆を始めた。在職中に、自然科学系や経済系など十三冊のテキストと六冊の単行本を世に出した。「女性の起業が成功する秘訣」は単行本の一冊で、二十一世紀のキーワードが、「女性と高齢者」であると考え、日本経済の成長に不可欠と思ったからだ。また、日本人は英語での討論が不得手なため、これまでに莫大な不利益をこうむってきたとの認識から、デイベートの本を書くと同時に、読売新聞の「論点」にデイベート能力養成の専門大学院を設立すべき、との提言も行った。ともあれ、三十二年間の長きにわたって、素晴らしい学生諸君と同僚の先生方、そして温かみにあふれた教育環境の下で働くことができたこと、心から感謝を申し上げたい。

支部会だより

平成二十六年度 会員分布状況

会員の方はご案内の支部会へ参加することができます。一紫会では、運営費全般と会費の一部を援助しております。

支部会についてのご希望やご意見をお寄せ下さい。(FAX及び郵送、宛先は最終頁参照)

会員総数	28,996名
住所不明	6,743名
物故者	156名

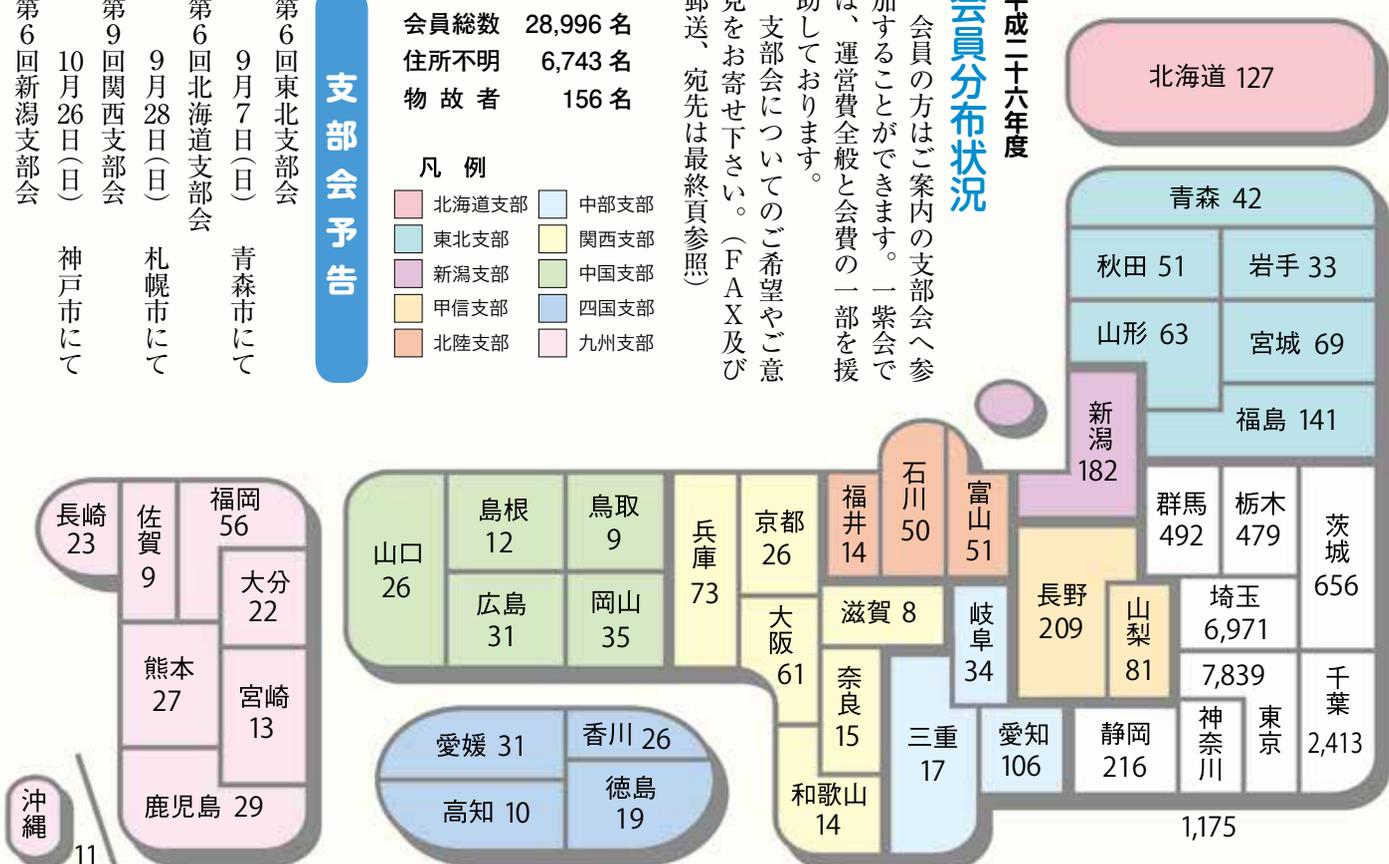
凡例

北海道支部	中部支部
東北支部	関西支部
新潟支部	中国支部
甲信支部	四国支部
北陸支部	九州支部

支部会予告

- 第6回東北支部会 9月7日(日) 青森市にて
- 第6回北海道支部会 9月28日(日) 札幌市にて
- 第9回関西支部会 10月26日(日) 神戸市にて
- 第6回新潟支部会 11月16日(日) 開催地未定

お住まいの地域以外の支部会へも参加可能です。ご希望の方は一紫会事務局までお問い合わせください。



「跡見花蹊先生」百七十四歳。今日もご健在です。

—— 跡見の時代がやってきた。女性とマネジメントの時代 ——

芝原脩次 先生



跡見花蹊が百五十五年前に描いた「女性の時代」がやってきました。私は「跡見学園女子大学の開学は一八五九年（花蹊十九歳跡見塾継承）」にあると思います。教育は建物や手続きが前提ではなく、人に対する「志とハート」が原点であるからです。坂本竜馬が生きた時代に、女性の自律を熱く語った女性が存在したことに驚嘆し誇りに思っています。凛とした学祖花蹊が好きです。

二〇〇二年四月、日本で初のマネジメント学部が創設されました。「マネジメント」は辞書では「管理する、取り扱う、処理する、経営する、やりくりする」と訳されます。しかし、これは「企業人」限定用語ではなく、「社会人」「家庭人」にとっても、日常的な言葉となりました。そこでマネジメントとは「我々の身近にある問題や課題につ

「皆さん、ごきげんよう。」

渡辺律子 先生



「皆さん、ごきげんよう。」これは私の体育授業の始めと終わりの挨拶でもあります。

十一年前、私が跡見学園女子大学短期大学部に着任した際に、「跡見の中高では今でも『ごきげんよう』を使っています」とお聞きしました。この言葉は体育授業にとっても似合う言葉だな、と思いました。まず挨拶言葉として、心地よい響きがします。そして相手の体調や気分までも気遣っていると思います。何よりも「ごきげんよう」の後には、「あー、かつたるい」「お前」といった学生言葉が直ぐには続かないのが良いと思います。体育はゲームが白熱してくると高揚して「すぐ戻れー」等、言葉が少々荒くなってきました。そこで気持ちを整えて「皆さん、ごきげんよう」で授業を終わります。初め学生は「ごきげんよう」の言葉が出てきませんし、言っている学生もか細い声で居心地が悪そうです。しかし授業が進む

につれて、学生の声も揃ってきて、自然に「ごきげんよう」を返してくれるようになります。

女子大に異動してからも体育授業の始めと終わりは「ごきげんよう」の挨拶としました。体育の他の先生方も同じようにして下さいだったので、跡見女子大の体育を履修した学生は、「ごきげんよう」と挨拶をされたら「ごきげんよう」と返せると思います。社会に出ても相手の体調や気分までも気遣った挨拶ができる女性であって欲しいと思います。私は四月より埼玉県のある教員養成系の大学に着任いたしました。大学の目の前には元荒川が流れ、堤の桜並木（今頃は青々と茂った緑の下）を歩きながら大学に通っております。こちらの桜が跡見女子大学新座キャンパスに勝るとすれば、堤下には菜の花が咲き、そのコントラストが見事です。桜の頃、お近くにお越しの際は、ぜひ元荒川の「出津橋」を渡った大学の研究室を訪ねてください。校友会の皆様をお待ちしております。それでは皆様ごきげんよう、さようなら。

第六回

北陸支部会を開催して

宝田（宮島）小夜香
（美学14回生B）

二〇一三年七月二十一日（日）富山市岩瀬町の磯料理旅館「松月」に於いて学園から山崎理事長先生、大学から山田学長先生、大学の前事務局長の入榮隆純様、一紫会から大塚幹事長はじめ六名の方々のご出席をいただき支部会員十名の計十九名で第六回北陸支部会を開催致しました。会場のある岩瀬町は、北前航路の廻船問屋群のある街並みで、支部会の前には各々で散策をして歴史ある北陸の港町を楽しんで頂きました。山崎理事長は、富山大学に招かれ

て森鷗外のシンポジウムに昨秋参加されたこと、山田学長は、八月に全国女子大学野球の開会式に大会長として魚津に来られること、入榮前事務局長はご生地の金沢に現在お住まいのこと等北陸とのご縁をお話し頂きました。会員からは、間近に迫った北陸新幹線の開業に伴い北陸支部の会員がもっと増える様にとの思いから、北陸の教育事情の良さや生活環境の素晴らしさをアピールする場面が多くみられ、学園や支部への思いが感じられました。

2回生から44回生までの幅広い年齢の会員が集い、打ち解けて楽しいひとときを過ごし、学祖跡見花蹊先生の書画集の制作、完成を楽しみにして、散会いたしました。

ご案内

支部会は活動開始から17年になり、支部間の交流が活発になって参りました。他支部の支部会に参加したり、首都圏にお住まいの方が地方の支部会に参加される例も多くなっております。

支部会開催のお知らせはウェブサイト「あとみネット」でご覧になれます。皆様のご参加をお待ちしております。



第五回四国支部会

諏訪 千秋
(国文 6 回生 B)

二〇一三年十月二十七日、JR ホテルクレメント高松にて第五回四国支部会を開催いたしました。直前の台風も無事に去り、当日はさわやかな秋の一日となりました。

理事長山崎一穎先生、学

長山田徹雄先生にはお忙しいところご出席いただき、又大塚幹事長はじめ一紫会本部より七名の幹事の皆様、支部会員九名、九州支部より一名と計十八名の会となりました。

私達が青春を過ごした新

座から、大学が茗荷谷へと移りつつある重大な時期に入り、それに伴う状況をお聞きし、そして女子大学の内容も時代と共に大きく変化していくということ、とても身近に感じました。「一人一言タイム」では各々のお話に感動したり笑ったりと時間が足りない程の楽しいひとときとなりました。

卒業後何度か訪れた新座

キャンパスへ、次回は友人



と共に「跡見の桜」の頃たずねてみたいと思います。二年後、又皆様との再会とそして他支部からのご参加を楽しみにしております。

第四回中国支部会

橋詰 (増田) みのり
(英文 16 回生 A)



みなさま ごきげんよう。

この度開催されました「第四回跡見校友会一紫会中国支部会」のご報告をさせていただきます。

去る十一月十七日(日)に、岡山全日空ホテルにて山崎一穎理事長先生、山田徹雄学長先生をはじめ一紫会本部役員の方々をお迎えし、四国支部の諏訪先輩、九州支部の谷口先輩、遠く境港や岩国からもご参加いただき総勢十九名にて和やかな時を過ごすことができました。

時は違えども、同じ学び舎にて過ごした四年間の思い出は多くが重なり、懐かしくもあり、あちらこちらで思い出話に花が咲いてい

ました。

少子化に伴い定員割れを起こす大学も多々ある中、我が跡見は、時代に応じた学部の増設などフレキシブルな対応で、幸いにも多くの先輩を送り出せているお話し。

また、子育てが一段落した今、これからの人生における「自分探し」や「自分磨き」のお話など、様々なお話が聞けて、とても有意義なひと時を共有できたのではないかと思います。

山崎先生にお話いただいた中で特に印象に残ったのは、「結婚の有無に係らず、夫や他人にパラサイトする

のではなく、己を見失うことなく信じる途を拓き続けることの大切さ。そういう考えのできる女性でいてほしい。」というお言葉でした。

それは、真に跡見花蹊先生の教えであると同時に、大学を離れて以来、なかなか師に教えるを仰ぐ機会が少ない私たちにとって、今後会が少なくない私たちに、今後の生かす生かされた人生を送るための貴重な軌道修正のチャンスであったのではないかと感銘致しました。

改めて、跡見で学べたことを誇りに思います。

今回の支部会開催にあたり、松浦・須本両先輩に大きなご尽力をいただいたことに感謝し、三年後の次回は広島にてみなさまとお会いできることを楽しみにしつつ筆を置きます。

第六回中部支部会を終えて

異相 (丹羽) 由美
(英文 6 回生 B)

梅雨入りしたものの、朝から青空が広がる良いお天気となりました。二〇一四年六月八日(日)名古屋城を間近に望むウエスティンナゴヤキャッスルにて、第六回中部支部会を開催いたしました。

山崎理事長先生、山田学長先生、大塚幹事長を始め七名の一紫会幹事をお迎えし、中部支部会員の二三名合わせて三二名の参加者の下和やかに開催されました。山崎理事長、大塚幹事長のお祝辞に続き山田学長先生の乾杯のご発声、その後は食事をいただきながら恒例の近況報告。私は茶の湯の雑誌「なごみ」の昨年八月号に花蹊先生の肖像画や作品そして大正時代の生徒の茶道稽古風景の写真などが掲載されたのが大変うれしく、皆様にお見せしたく思い、雑誌を持参いたしました。毎回皆様の日頃の出来事や今熱中しているらっしゃることなど、様々なお話が飛び出し楽しいひと時となります。とりわけ、先生方から伺う最近の母校の様子は皆様の関心事です。来年度観光コミュニティ学部が新設されるとのこと、移りゆく時代の中で今社会が求めている女性の育成に常に尽力されていらつしやる先生方のお話を伺って大変心強く感じました。

そして来年創立五〇周年を迎える跡見学園女子大学の益々の発展を願い、私たち中部支部の会員も微力ながら応援してまいりたいという思いを新たにいたしました。

支部会は、懐かしい母校を身近に感じる事ができる、また新たな交友の輪が広がる二年に一度の機会です。次回はあなたもぜひご参加くださいませ。



会員だより

美7A「還暦を祝う会」

齋藤(境野) 真紀子
(美学7回生A)

二〇一三年九月二十一日
(土)、クロアチア料理「ドプロ」
(京橋)にて開催しました!



二十三名出席。
会ってすぐ昔の若い顔が浮かぶ
人有り、一瞬考えてもわからず、
旧姓でやっと昔の顔が浮かんで、
大感激だった人有り。四年前の「七
回生卒業三十五周年を祝う会」で
お会いした方々も大勢。
「皆様ごきげんよう。この挨拶
を聞くと、三十九年前を思
い出す方が多い事と思いま
す。或いは、いつもギユウ
ギユウ詰めだった通学バス
を思い出した方もいらっ
しやるでしょう。…若さ一
杯の日々でした。…」井上
(旧姓伴)さんの挨拶で会
が始まり、自己紹介で昔の
お顔を思い浮かべながら、
今までの様々を聞いて、皆
さん色々あった…と感心。
老親の病氣・介護・見送り、
夫の病氣、自分の病氣、仕
事、趣味、遊び、子供の結婚、
孫の誕生・子守り…。とは
いえ、今でも皆元気!写真
を御覧あれ!

次回は、二〇一四年十一
月一日(土)です。是非御
出席を!

飯島周先生ゼミ同窓会報告

青木(井澤) 純子
(英文9回生B)

二〇一三年十月十九日(土)の昼
下がり、新宿の小田急ホテルセン
チュリーサザンタワー21階(アーバ
ンルーム)は、飯島周先生と十人の
元女学生たちがにぎやかに交わす心
地よい声に包まれました。

ご退職なさって早いもので十四年
の歳月が流れましたが、先生はいま
なお颯爽として若々しく、日本チェ
コ協会の会長として、またチェコ文学
の紹介者として精力的に活動を続け
ておられます。

その功績が認められ、二〇〇九年
にはチェコ政府から功労賞が贈られ



国文科2回生クラス会

森 光子
(国文2回生B)

平成二十六年二月十二日、二回
目の国文科二回生A B合同クラス
会を、京王プラザホテル「南園」
にて開催いたしました。

立春を過ぎたとはいえ、まだ数
日前の雪が残る中、京王プラザホ
テルのロビーは、四八〇〇点とい
うたくさんのつるし雛であふれて
おり、春の到来を感じさせてくれ
ました。そんなたくさんのお雛様
に迎えられて、A組十八名、B組
十一名と少人数ではございました
が、元気に集まりました。

卒業後、一度も学校を訪れたこ
とがない方も多く、ずいぶんた
ずまいも変わったでしょうね、と
か、桜の見事だったこと、等ひと
しきり学生時代の話に花が咲き、
続いて、それぞれの近況を一言ず
つ話して頂きました。孫達のうれ
しい報告もあり、介護生活真っ最
中という方は、経験者から情報を
もらったり、と楽しくも有意義な
時間を過ごしました。

次回の開催は、五年後では長ず
ぎるのではないかと、というご意見
があり、少し期間を縮めて三年後
位にお会いしましょう、とお約束
をして、散会いたしました。



たことは、ご記憶に新しいことと思
います。チェコでの授与式に臨まれ
た先生ご夫妻のお写真を拝見しなが
ら、その時のエピソードやプラハの
様子など、お話をうかがうことがで
きました。

そして赤ワインではんわり顔を染
めながら、教え子たちの近況報告に
楽しんで耳を傾けてくださり、二時
間があつという間でした。

お仕事やお子さまの学校行事、親
御さまの介護などの都合でやむなく
欠席された方も大勢おられました
が、次の機会を楽しみにしていただ
ければと思います。

なお、今回案内状が届かなかつた
方は恐れ入りますが、左記までご連
絡ください。

aoki-junko@jcom.home.ne.jp

国文科

8 回生同窓会報告

島影 (小林) 教子

(国文 8 回生 A)

風薫る五月十一日、この日は奇しくも「母の日」でした。が、昨年還暦を無事に迎えた国文学科 8 期生二十七名が池袋のメトロポリタンホテル 25 階ボラリスに集いました。遠くは岩手、静岡、長野からの参加です。8 期国文は九年前にも卒業三〇周年を記念して同窓会を開催しています。が、今年は還暦の祝いを目的に集まりました。前回は、在学中のゼミ担当の山崎一穎先生、谷協理史先生、室伏信介先生、菊地弘先生にご臨席いただき、

ただきましたが、月日の流れとともに亡くなられた先生もいらして、今回は私達のみの集いで、す。それでは寂しいと幹事が大塚の本部に向き山崎理事長からビデオメッセージを頂き、会場で視聴いたしました。お元氣そうな理事長の様子に会場からはどよめきと歓喜の声が出ます。山崎理事長からは「国文らしくこれからは思い出を紡いでください」の言葉をいただき、全員が深く頷いておりました。また、四月に撮影された新座キャンパスの桜の映像と校歌が流れると一気に学生時代の頃の頃に戻り話に花が咲きます。全員の近況報告であつと言う間



せるような爽やかな日によい思い出づくりができました。解散後母の日の祝いの席に出かける者、名残惜しく場所を変えお茶をしながら話し込む者と様々でしたが「また、会いましょうね」と全員が笑顔で満足した姿に幹事も開催してよかったですと安堵しました。皆様、またお目にかかれるまでお元氣で！ごきげんよう！

4 国 B クラス会
石川 りえ
(国文 4 回生 B)

平成二十六年五月二十三日 (金) に、クラス会を開催いたしました。

会場は、交通の利便性を考慮して、東京駅前丸ビル 36 階のレストラン「モナリザ」です。高層階からの眺望は、美しい新緑が広がっております。

前回より五年後の開催です。出席者は二十一名でした。東京近郊より十数名、遠方では愛知県や大阪からの参加をいただき、幹事一同感謝いたしました。

再会を祝し乾杯をいたし、食事の合間に、簡単な自己紹介や近況報告など



を、お一人ずつ伺いながら、楽しく歓談いたしました。学生時代の思い出話などほとんどとまるところがありません。当時の表情が浮かんでまいります。

最後に、次回の幹事を選出し、小さなクッキーをおみやげにお持ちいただき、散会いたしました。

今回はご自身の体の不調や、ご家族の介護の都合で、残念ながら欠席なされた方もいらっしゃいます。次回からは是非、皆様の参加を願っております。

これを機会に、新しい交流が始まることでもあります。同窓の友のありがたさをいただいたよい一日でした。

跡見花蹊作品の情報をお寄せ下さい！

学祖跡見花蹊先生は女流書家・画家として明治から大正期にかけて活躍され、教育の場においても書・画を中心とした情操教育を重要視しておられました。

しかし、これまで跡見花蹊先生の書画集は一度も編まれたことがなく、花蹊先生の作品はかなり散逸しているものと思われます。

跡見学園では学祖花蹊先生の市井に埋もれた作品を掘り起こし、既存の学園収蔵作品と共に跡見花蹊作品集の制作を計画しております。

会員の皆様、あるいはお知り合いの方のお手元に花蹊先生の書画の作品類などございましたら一紫会までご一報下さい。また作品に関する情報でも結構です。

連絡先 FAX: 03-3941-8642 (一紫会事務局花蹊先生書画係)

— 会員所在確認のお願い —

転居先不明が多数出ています。ご友人が移転されていて会報が届いていないことをご存知の会員は、ぜひご友人に事務局あて転居連絡をされますようお願いください。

— 住所・氏名の変更方法 —

- 住所表示変更の場合もご連絡下さい。
1. 会員番号 (宛名の名前の下に記入の No.)
 2. 卒業回生・学科名・クラス (不明の場合は、卒業年度)
 3. 新氏名 (フリガナ)
 4. 旧氏名 (フリガナ)
 5. 現住所 (〒・〇〇 様方も)
 6. 現住所の電話番号
 7. 連絡先の住所 (〒・〇〇 様方も)
 8. 上記の電話番号

〈葉書・FAX の宛先〉
〒 112-8629 文京区大塚 1-5-9
跡見学園 跡見校友会一紫会
FAX: 03-3941-8642
一紫会へのご連絡は郵便、FAX でお願い致します。

跡見学園卒業生

美術工芸展

第 39 回 花 兆 会

へのご案内

会期 平成 26 年 11 月 11 日 (火) ~ 11 月 16 日 (日)

午前 11 時 ~ 午後 6 時 (最終日午後 4 時迄)

会場 東京銀座画廊・会場 B (8F)

中央区銀座 2-7-18
銀座貿易ビル・名鉄メサ
03(3564)1644

跡見学園開学百年を期に、花蹊先生の教えの道を慕って集い、美術工芸創作を精進してまいりました跡見同窓生の作品展です。ご覧いただけましたら幸いです。

〈お問合せ先〉
吉田 真知子 (一紫会担当)
FAX 03(3920)5937

一紫会事務局より

★クラス幹事総会

平成26年6月14日(土)池袋サンシャイン60「星のなる木」でクラス幹事総会が開催されました。



★新幹事紹介

- 文学部
- 阿部華佳 石崎侑香
 - 井上茉莉 北村文乃
 - 監物祥子 庄司海幸
 - 高田 葉 平賀万理恵
 - 福田里早 村松宏美
- マネジメント学部
- 鈴木悠香 布施木千佳



★第45回

「紫祭」のご案内

11月1日(土)・2日(日)新座キャンパスにて「紫祭」が開催されます。

例年一紫会では、1号館1F(正面玄関を入って左手)に「卒業生の部屋」を設け、会員の皆様のお休憩所としてご利用いただいております。是非お立ち寄りください。

花蹊先生のお軸寄贈

一紫会だより第66号でお知らせ致しましたように、跡見学園では学祖花蹊先生の作品を蒐集していらっしゃいます。

本年2月、一紫会は花蹊先生のお軸を学園に寄贈致しました。絹本・軸装の水墨画「竹に蘭図」で、笹と春蘭を描いた品の良い一幅です。

花蹊記念資料館に収蔵され、展示の折には是非ご覧いただけましたら幸いです。



大学より

★退職された先生方

- 文学部
- 人文学科教授 佐藤史郎先生
 - 人文学科助教 酒井智宏先生
 - 臨床心理学科教授 片野智治先生
 - 臨床心理学科准教授 渡辺律子先生
- マネジメント学部
- マネジメント学教授 芝原脩次先生

一 訃 報

橋本 達雄 先生

平成25年12月10日ご逝去されました。享年83歳

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

女性がもっと輝く未来のために

跡見学園女子大学は変わります!

2学部7学科から、3学部8学科へ

文学部	人文学科(定員160名) 現代文化表現学科(定員120名)	コミュニケーション文化学科(定員110名) 臨床心理学科(定員120名)
マネジメント学部	マネジメント学科(定員180名)	観光マネジメント学科(募集停止) 生活環境マネジメント学科(定員80名)

NEW 観光コミュニティ学部

2015年4月開設予定(設置認可申請中)

観光で日本をもっと元気にしよう 観光デザイン学科(定員120名)

地域社会に新しいコミュニティを生み出そう コミュニティデザイン学科(定員80名)

ここから始めよう。私たちが創造する新しい日本。

カリキュラムが変わります 新カリキュラムのポイント

全学共通事項	教育課程	・「完全セメスター制」の導入で、幅広い科目選択が可能に ・全学で卒業論文・卒業研究を必修化し、4年間の学びを形に
	全学共通科目	・外国語科目を充実し国際化の時代に応える ・キャリア形成を支援する科目を充実
文学部	人文学科	国際教養分野を充実させ、日本の伝統に根ざしつつ国際化の時代に即した幅広い学びを提供 【履修モデル】日本文学、創作・表現、美術史、総合文化、国際教養、日本史、西洋史、現代社会・思想
	現代文化表現学科	アート系・デザイン系を中心とした学びを充実させ、現代文化を支える人材を育成 【履修モデル】アート&シアター、デザイン&ファッション、ポピュラーカルチャー
	コミュニケーション文化学科	日本語、英語のコミュニケーション能力の向上を目指すカリキュラムに改編 【履修モデル】日本語コミュニケーション、英語コミュニケーション、コミュニケーション理論
	臨床心理学科	社会のニーズの変化に合わせて、幅広い進路に対応したカリキュラムに 【履修モデル】臨床心理、学校心理、健康心理、産業・企業心理
マネジメント学部	マネジメント学科	基幹科目「マネジメント入門」を開設し、マネジメントの視点で幅広く活躍できる女性を育成 【履修モデル】企業マネジメント、公共マネジメント、文化マネジメント
	生活環境マネジメント学科	衣・食・住にかかわる科目を充実し、身近な暮らしへの関心からビジネスの場で活躍できる女性を育成 【履修モデル】衣食住マネジメント、社会生活マネジメント、環境マネジメント

ATOMI OPEN 2014 CAMPUS

学部紹介&入試説明/専任教員による個別相談/在学生による個別相談
模擬授業/学食体験/キャンパスツアー

10/4 SAT	11/1 SAT	11/2 SUN
文京キャンパス 13:30-17:00	新座キャンパス 10:30-15:30	新座キャンパス 10:30-15:30
11/23 SUN	*開催時間の30分前から受付開始 *11月1日、2日は紫祭(大学祭)と同時開催	
文京キャンパス 10:30-15:30		